

## 企画案：ベトナム野外観察・保全活動視察

2014年4月29日

(第一案 文責：大谷)

目的：ベトナムにおける野生動物の観察、保全活動の視察および海外研究者との意見交換

派遣先：ベトナム・カンザー国立公園、ヴァンロン自然保護区

日程：2014年8月7日-8月18日

### 内容：

本企画は PWS の学生に対し、ベトナム国内に生息する種々の野生動物を観察する機会の提供と、現地で行われている保全活動の視察を目的とする。また併せて現地で開催される国際霊長類学会を見学し、各国から集まった研究者の最新の成果に触れ、意見の交換を行う。

ベトナムの国土は南北に長く、南部と北部では気候・植生・野生動物の分布が異なる。気候による自然環境の多様性を実地で学ぶため、今回の企画では南部および北部の国立公園・自然保護区への訪問を計画している。南部のカンザー国立公園はベトナム戦争時に散布された枯葉剤によりマングローブ林が完全に消滅し砂漠化した歴史を持つが、その後の植林等の多大な努力の結果、現在では 7 万 ha 以上のマングローブ林が回復している。マングローブはその構造的・生態的な特徴から様々な生物にとっての生息基盤となることが知られており、実際に同公園では霊長類を含む多種の野生動物が観察可能である。北部で訪れるヴァンロン自然保護区は地域コミュニティの活動により保護区に指定された場所である。現在も地元住民の主導でエコツーリズムが行われ、地域コミュニティと共存した持続可能な保全活動が実現されており、地元住民の積極的な参画の重要性を体現した場所であると言える。同保護区では希少なリーフモンキーが観察可能である。また国際霊長類学会に参加し、世界各国から集まる研究者と懇談の機会を設け、研究等に関する意見交換を外国語で行う実地の訓練とする。

現状、動植物の研究者が保全に全く関わらず研究を進めることは困難であるうえ、保全への貢献は研究者に対して社会が強く求める成果のひとつだと考えられる。野生生物保全の最前線を見学し保全活動の成果と問題点を理解することは、机上の議論に留まらず実際的な提言を行う上で非常に重要である。また各地の研究者が一同に会し意見を交換する場は貴重であり、その場への参加は PWS の目指す言語能力の向上に寄与できるものと考えられる。派遣には野外での野生動物観察調査および保全研究の経験のある院生が同道し、PWS 学生のサポートを行う。

備考：

前半は南部を観察し、後半は北部に滞在する。後半は IPS に全員全日程参加する案と、2 グループ（IPS 参加組、ハノイ周辺の保護区滞在組）に分ける案がある。また PWS の学生からイルカを観察したいとの要望があったため、検討中である。ただし、費用が高くなる可能性が高い。

概算費用：

13.5 万円-28 万円/人（参加人数および旅程によって変化。日当などは含まず。詳細は別紙見積書を参照のこと）

参加者：

現在までに PWS 学生 3 人から参加の要望があった他、PRI, WRC の院生、ポスドク数名から参加の表明があった。企画内容が固まり次第、参加者を募る。

旅程：

月/日	曜日	都市	時刻	スケジュール
8 月 7 日	(木)	中部又は関空 発 ホーチミン着 カンザー	午前	ベトナム航空にてホーチミンへ(時差:2 時間)
			午後～夜	入国手続き後、カンザー国立公園のホテルへ
			夕刻～夜	カンザー・リゾート 泊
8 月 8 日	(金)	カンザー	終日	世界遺産のカンザー・マングローブの森にて (ホーチミン宿泊の場合、片道約2時間) 野生のサルなど観察、ボートクルーズ カンザー・リゾート 泊
			終日	世界遺産のカンザー・マングローブの森にて (ホーチミン宿泊の場合、片道約2時間) 野生のサルなど観察、ボートクルーズ カンザー・リゾート 泊
8 月 9 日	(土)	カンザー	終日	世界遺産のカンザー・マングローブの森にて (ホーチミン宿泊の場合、片道約2時間) 野生のサルなど観察、ボートクルーズ カンザー・リゾート 泊
8 月 10 日	(日)	カンザー  ホーチミン発 ハノイ 着	午前  夕刻 夜	世界遺産のカンザー・マングローブの森にて (ホーチミン宿泊の場合、片道約2時間) 野生のサルなど観察、ボートクルーズ ホーチミンに戻り 国内線で首都のハノイへ 着後ホテルへ

			ハノイ/QUOC HOA 泊
8月11日 (月)	ハノイ 発 バームン島 クアンニン 着	午前 午後	A) 第25回国際霊長類学会に参加 B) バイツーロン自然保護区へ(約5~6時間?) 野生のサルなど観察
			クアンニン/ATI RESORT 泊
8月12日 (火)	クアンニン 発 バームン島 クアンニン 着	終日	A) 第25回国際霊長類学会に参加 B) バイツーロン自然保護区へ 野生のサルなど観察
			クアンニン/ATI RESORT 泊
8月13日 (水)	クアンニン 発 バームン島 ニンビン 着	終日	A) 第25回国際霊長類学会に参加 B) バイツーロン自然保護区へ 野生のサルなど観察後、ニンビンへ
			ニンビン/エメラルダ・リゾート&スパ 泊
8月14日 (木)	ニンビン	終日	A) 第25回国際霊長類学会に参加 B) ヴァンロン自然保護区へ
			ニンビン/エメラルダ・リゾート&スパ 泊
8月15日 (金)	ニンビン	終日	A) 第25回国際霊長類学会に参加 B) ヴァンロン自然保護区へ
			ニンビン/エメラルダ・リゾート&スパ 泊
8月16日 (土)	ニンビン 発 ハノイ 着		A) 第25回国際霊長類学会に参加 B) ヴァンロン自然保護区へ 夕刻ハノイへ
			ハノイ/QUOC HOA 泊
8月17日 (日)	ハノイ	21:00頃	A)班、B)班合流して ハノイ市内視察

			機中泊
8月18日（月）	ハノイ 発 中部又は関西空 着	深夜 朝～午前	ベトナム航空にて帰国 中部又は関西国際空港到着